

令和4年度第1回鳥取市男女共同参画審議会 議事概要

1. 開催日時 令和4年10月5日(水) 午後1時30分から午後2時55分
2. 開催場所 鳥取市役所本庁舎6階 第4会議室
3. 出席委員 鳥取市男女共同参画審議会委員11名(別添名簿のとおり)
4. 議事要旨

(1) 正副会長の互選、以下のとおり決定

会長：徳田純子委員、副会長：福田克彦委員

(2) 事務局の説明

- ・男女共同参画課の職員体制、及び男女共同参画センターの役割等について説明
- ・「第4次鳥取市男女共同参画かがやきプラン」の取り組みについて、主に令和4年度の取り組みを報告

(3) 主な意見等

【鳥取市男女共同参画かがやき企業認定について】

- ・かがやき企業について、県でも似たような制度、男女共同参画推進企業認定制度がある。
- ・優秀な人材を得るために、優遇措置などを行い企業が積極的にやりたいって思えるようなものを作っていたきたい。
- ・働きやすいように設備の補助を行ったということだったが、例えば、まだかがやき企業認定を受けていない企業には補助金出さないとか、全部の項目に、かがやき企業の規定がないと、一切補助金出さないとか言った取り組みはできないか。
→(事務局)市としては様々な項目で企業支援をしていく必要があると考えている。市には中小企業が多いということもあり、新型コロナウイルスの状態であるとか、人口が減少しているとか、そういったことを考えながら様々な支援をしていきたいと考えている。

【家族経営協定について】

- ・家族で農業をやっていると、仕事と家事との切り分けが結構曖昧になってしまうといった難しい環境が農業にはあるため、家族協定をすすめてほしい。
- ・家族間での役割を話し合うということが一番大切なのではないかと考えている。何が何でも協定を結ぶというよりは、むしろその話し合いの場を持つような機会が持てるような環境づくりをしてほしい。

【女性目線での防災について】

- ・コロナ禍の中、講義などいろいろ研修に参加しているが、参加人数が少ないと感じている。
- ・女性消防団員の中でも、防災についての住民の意識の低さが問題になっている。
- ・研修生側として参加したときに、話を聞くだけではなくて、実際に作ってみるとか、体を動かす内容が好評だったこともあり、今後、研修内容の検討も必要があると感じている。
- ・避難所において、身体障害などでグループワーク分けされるといっても、女性で分けられるってことは避難所の中では、まず、今まであまり経験がない。避難所の中でも使いにくい部分があるなど、女性と防災を考えることは非常に大切なことだと感じている。
- ・高齢になってくると退職した方がほとんどになって、自分より高齢の方を引っ張っていかなければならないので、今後、防災についてはこれから考えていきたいと思っている。

【DV(ドメスティック・バイオレンス)への取り組みについて】

- ・啓発シールを鳥取市内のトイレに貼ってもらえると、誰か1人でも、もしかすると助かる人がいるかもし

れないのではないか。

←（事務局）以前、企業への協力をお願いしたこともあったが、管理上の問題もあると聞いている。今後
も御理解をいただけるように努力はしていきたいと考えている。

- ・DVのカードは「さわやか会館」や「さざんか会館」の方においでいるが、日々、少なくなっているとい
う感じを受けており、かなり有効に活用をしていただける部分もあると感じている。
- ・自分がDVをしているということに、気づけるかどうかといったような啓発が必要だと考えている。
- ・高齢化が進む中、この先、高齢者とか、弱い立場の方へのDVなどへの啓発が気になる。

【啓発講座について】

- ・男女共同参画センターで行う啓発講座について、アーカイブとして動画を載せていただけると、行くこと
ができなかった方に対して、いつでも興味あるテーマを学べるので、より多くの方にご覧いただけるのか
なと感じる。
- ・男女共同参画センターで行った啓発講座の取り組みについて、出席を必要とする方に情報が届きにくいの
ではないかと感じた。講座の参加者がどのように周知され、出席したのかといった分析が必要なのではな
いか。

【その他】

- ・男女共同参画の取り組みについて、市としての方向性を示してほしい。
また、今後、資料を作成する際には注力する部分、課題がある部分を示してほしい。なお、次回の審議会
では、課としての評価や方向性を示していただきたい。
←（事務局）次回の審議会では、課題等を整理して示したい。
- ・社会福祉協議会で新型コロナウイルスの関係で緊急小口貸付を行っている。女性への貸し付けが大体3割
ぐらいになっているが、理由を見てみるとコロナの関係で子どもを見なくてはならなくなって休みを取
ったら退職を命じられたとかといったことが耳に入ってきている。男性では、そういった理由で退職を命
ぜられたといった理由は全く上がってこなかったもので、女性の就業の弱さを感じている。
- ・メディア・リテラシーについて、令和3年度では「情報モラル教育推進事業」に18校の取り組みがあっ
た。自分も民間企業からの依頼でオンラインによる情報モラルの授業を行っているが、市内の学校でも取
組みが出来れば、情報モラルの授業が進みやすくなるのではないか。
←（事務局）総合教育センターより後日回答。
- ・鳥取市 Smile 月間（いじめ防止等強調月間）の取り組みの中で、相談窓口は本人、あるいは保護者に対し
て行われているものなのか。
←（事務局）総合教育センターより後日回答。

※総合教育センターからの回答

- ・オンラインによる情報モラルの授業について
→「情報モラル教育推進事業」はそれぞれの学校ごとで取り組んでおり、お尋ねの件に関しては、学校に
も情報提供していきたい。
- ・鳥取市 Smile 月間（いじめ防止等強調月間）における相談窓口について
→スマイルプロジェクトの取組の一つとして全家庭に配布を行っている「いじめ防止リーフレット」に相
談窓口を記載し、周知に努めており、本人および保護者共に相談対象としている。

令和4年度第1回鳥取市男女共同参画審議会出席者

令和4年10月5日(水)

No.	所属団体・役職名等	氏名	出席	備考
1	鳥取市男女共同参画登録団体連絡会会員 (鳥取県退職者公務員連盟)	徳田 純子		会長
2	部落解放同盟鳥取市協議会女性部 副部長	山崎 久美子	○	
3	鳥取市小学校長会 (青谷小学校長)	浅井 寛恵		
4	Tottori Mama's 代表	中井 みずほ	○	
5	とっとり若者地方創生会議 委員	清水 愛結		
6	鳥取商工会議所 常議員 (山野商事(株)代表取締役)	嶋田 耕一		
7	連合鳥取東部地域協議会 副議長	藤田 浩二		
8	鳥取県農業委員会女性協議会 委員	山本 暁子	○	
9	鳥取市自治連合会 副会長	水田 憲夫	○	
10	鳥取市社会福祉協議会 事務局長	前田 由美子	○	
11	鳥取市消防団 女性分団 班長	安達 由紀	○	
12	鳥取労働局雇用環境・均等室長	齋木 和紀	○	
13	鳥取県女性活躍推進課 課長補佐	小川 博考	○	
14	一般公募	森田 将悟	○	
15	一般公募	福田 克彦	○	副会長
16	一般公募	眞木 真理	○	